



かほる

学校便り No.4

平成26年5月9日

郡山市立薫小学校

児童数 425名

文責：小林 伸行

今年度の学校教育の重点目標について～その(1)～



新年度がスタートして、早いもので1ヶ月が過ぎました。子どもたちは、新しい環境にもすっかり慣れ、来週の土曜日に迫ってきた運動会に向けて、練習にも日増しに力が入ってきています。

さて、学校便りのNo.1でもお知らせしましたように、本校では「豊かな心を持ち、実践力のある子どもの育成」という教育目標のもと、「心豊かな子ども」「考える子ども」「すこやかな子ども」の3つの目指す子どもの姿を掲げて、毎日の教育活動を進めています。目指す子どもの姿の実現に向けて、今年度、特に力を入れて取り組もうとしている重点目標について、今回と次回に分けてお知らせしたいと思います。

重点目標1 思いやりの心の育成 《「心豊かな子ども」にかかわって》

「心豊かな子ども」の実現のために、各教科の授業や特別活動、特設クラブ等の活動を通して、次の3つの取組を中心に思いやりの心の育成を図っていきます。

取組1 相手の立場や気持ちを考えて行動し、友達と仲良くし、優しい気持ちで接することができるようにするため、道徳の時間の指導を大事にするとともに、学級内や学年間、そして、縦割り班での子どもたち同士の交流の場を広げていきます。

取組2 いつでも、どこでも、明るくすがすがしいあいさつが進んでできるようにするために、学年の発達段階に応じて、道徳や学級活動の時間等であいさつの意義や仕方を計画的に指導するとともに、学校生活の中で子どもたちの取組のよさを随時取り上げて賞賛し、励ましていきます。

取組3 清掃活動や係・委員活動、ボランティア活動などの奉仕活動に進んで取り組むことができるようにするため、それぞれの仕事の内容を理解させて目的意識をしっかりと持たせ、自分が取り組んだ結果について振り返る場を大事にしていきます。

相手を思いやる心は、社会生活を営んでいる私たち人間にとって欠くことのできないものです。子どもたちの具体的な活動場面を通してその必要性を粘り強く考えさせていきます。



《昇降口では子どもたちのさわやかなあいさつが響き合います》

重点目標2 確かな学力の定着 《「考える子ども」にかかわって》

「考える子ども」の実現のために、各教科の授業を中心として基礎的な知識や技能を習得させるとともに、それらを活用して課題を解決するのに必要な思考力や判断力、表現力を育み、主体的に学習に取り組む態度を大事にしながら、次の3つの取組を中心にして確かな学力の定着を図っていきます。

取組1 自ら課題を持ち、進んで学習活動に取り組み、自分なりに解決することができるようにするため、授業の導入部分の課題提示を工夫して、「それはなぜなのか?」「どんな方法で考えていけばいいのか?」などの子どもたちの問いを大事にした授業を進めます。また、学年の発達段階に応じて自分なりの学習の見通しを持つ場を授業に位置付けていくことで、子どもたちの学ぶ意欲を大事に育てていきます。



《確かな学力を身につける基本は「毎日の授業」です》

取組2 各教科の基礎的・基本的な内容を確実に身に付けることができるように、子どもたち一人ひとりの学びの実態をしっかりととらえて、学習内容を絞り込んでいきます。また、学習方法や学習の形態を工夫した、個に応じた支援・指導を行っていきます。

取組3 自分の思いを伝えたり、相手の考えを理解し認め合ったりできるようにするために、聞き方・話し方の指導に力を入れていきます。相手の考えを受け止め、それと自分の考えを比べて共通点や相違点をまとめる場、表現する場を授業の中で大事にしていきます。

飛び出しに注意！交通事故が多発しています



先日、学校からの緊急メールでもお知らせしましたが、県内で交通事故が多発しており、4月30日付けで交通死亡事故多発全県警報が発令されました。4連休の前には、市内の小学1年男子児童が赤信号に気付かず道路を横断し、車と接触するという事故が発生しました。幸い大事には至りませんでした。が、一歩間違えば命にかかわる事態ともなりかねませんでした。

常日頃から、「自分の命は自分で守る」という視点を大事にして、学校では交通事故の絶無に向けた指導を子どもたちに繰り返し行っています。ご家庭でも次の5点について、再度、お子さんと話し合う場を持っていただければありがたいです。

- ◇ **飛び出しは絶対にしない**…事故に遭った児童の7割弱に違反があり、その中で最も多いのは「飛び出し」による事故です。
- ◇ **道路を横断するときには、左右もう一度右を確認する**…ひと呼吸おくことが心のゆとりにもつながります。
- ◇ **交通ルールを再確認し、「とまれ」の標識があるところでは必ず止まる**…自転車も歩行者も同じです。「どうせ車はこないだろう」という油断は禁物です。
- ◇ **信号が青でも、車が来ないことを確認してから横断する**…自分の目でしっかりと確認することがすべての基本です。
- ◇ **自転車に乗るときは、ヘルメットを必ず着用するようにする**…ヘルメットをかぶることは、悲惨な事故から自分の命を守ることであります。